

### 県内取組事例

事業者：株式会社中央運送（都城市）  
資本金：20,000,000円 業種：一般区域貨物自動車運送業 従業員数：130名

### 事業名：車両管理デジタル化事業

アプリ



## 車両情報（修理・点検予実）を一元管理し、車両リスクの回避で営業生産性を向上

#### 【概要と目的】

・車両情報の一元管理による点検に関わる業務の効率化

- ①点検整備履歴…「いつ」「だれが」「なにを」「いくらで」整備を実施したのかを共有でコスト削減
- ②スケジュール管理…期日前アラートを活用し定期点検や部品交換漏れによるリスク回避で営業生産性の向上を実現

#### 【事業の目標】

##### （定性目標）

車両管理システムを構築し、業務作業効率化と履歴管理による法令遵守の徹底

- ①車両管理システム（Bloft）活用により、管理業務の30%省力化目標
- ②スケジュール機能（期日前アラート）で部品交換や定期点検漏れ『0』目標
- ③ペーパーレス化により、印刷コストを約30%削減目標
- ④ノーコードツールの利点を活かし、その他業務ツールとしても活用し、全社的な業務効率化を実現

#### 【効果（成果）と取り組みの課題】

運送業の2024年問題に対してDX推進は不可欠であり、継続的なパートナーシップを築き、様々な業務の効率化が必要。関係者を巻き込み、基幹システムである配送管理システムとの連携含め、長期的に顧客の業務変革を支援していく。

#### ■ Bloft車両管理

##### ① Bloft親アプリに情報登録



担当者が基本情報を入力

##### □ 車両マスタ登録

- 車番
- 定期点検日
- 保険/車検期日
- 証書

##### ② 親に紐づく子アプリに担当者が都度追記



ドライバーおよび車両担当者

- 走行距離
- 事故履歴
- 乗車担当



整備担当者

- 作業者
- 委託先
- 作業代
- 作業実績
- 次回交換日

アプリに登録している上記■の情報がアラート通知で事前に関係者にメール通知

